D

令和８年度　第１次試験問題

運営管理（オペレーション・マネジメント）

１日目　15：40～17：10

＊試験開始前に、以下の事項を必ずご確認ください。

電卓、携帯電話やスマートフォン、ウエアラブル端末などの通信機器・電子機器類は、机上に置くことも、身に着ける（ポケットなどに入れる）ことも、使用することもできません。このことが試験時間中に守られていない場合は、不正行為として対処します。試験開始前に、必ず電源を切った上でバッグなどにしまってください。
スマートウオッチやスマートグラス、イヤホンなどの取り扱いも同様です。

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。合図の前に問題用紙を開いた場合は、不正行為として対処します。
2. マークシートについての注意事項は、次のとおりです。
これらの事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。
(1) HB または B の鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、正しくマークしてください。鉛筆またはシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●	⊖	▨	⊗	⊙	◌ うすい

(2) 解答は選択肢（解答群）から１つ選び、所定の解答欄にマークしてください。
(3) 解答を修正する場合は、プラスチック製の消しゴムで消しあとが残らないようにきれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。
(4) マークシートに必要事項以外を記入してはいけません。
(5) マークシートを汚したり、折ったりしないように注意してください。
(6) マークシートは、必ず提出してください。持ち帰ることはできません。
3. 監督員の指示に従って、マークシートの所定欄に、受験票記載の受験番号と生年月日を、注意事項を参照の上、記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置き、試験開始の合図があるまでお待ちください。
4. 試験開始後 30 分間および試験終了前 5 分間は退室できません。（下記参照）
5. 試験終了の合図と同時に必ず筆記用具を置いてください。試験終了後にマークや記入、修正をしてはいけません。マークや記入、修正をした場合は、不正行為として対処します。
6. マークシートの回収が終わり監督員の指示があるまで、席を立たないでください。
7. 試験時間中に体調不良などのやむを得ない事情で席を離れる場合には、監督員に申し出てその指示に従ってください。
8. その他、受験に当たっての注意事項は、受験票裏面などを参照してください。

＜途中退室者の方へ＞
試験開始 30 分後から終了 5 分前までの間に退室する場合は、マークシートと受験票を監督員席まで持参して、マークシートを提出してから退室してください。問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入した上であわせて提出してください。
問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後 20 分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失などについては責を負いませんのでご承知おきください。

（途中退室する場合は、下の欄に受験番号を必ず記入してください。）

受験番号：

D

第１問

生産指標に関連する記述と用語の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　素材が準備されてから完成品になるまでの時間を表す数値

b　単位時間に処理される仕事量を表す数値

c　仕事全体を１人の作業者で遂行するのに要する時間を表す数値

d　投入された主原材料の量に対する、その主原材料から実際に産出された製品の量の比率を表す数値

〔解答群〕

ア　a：スループット　b：歩留り　c：工数
　　d：適合品率

イ　a：メイクスパン　b：スループット　c：工程能力指数
　　d：適合品率

ウ　a：メイクスパン　b：歩留り　c：リードタイム
　　d：可用率

エ　a：リードタイム　b：スループット　c：工数
　　d：歩留り

オ　a：リードタイム　b：メイクスパン　c：工程能力指数
　　d：歩留り

第 2 問

MRP に関する以下の文章の空欄Ａ～Ｄに入る用語の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

MRP において、［ A ］とは、連続した時間の流れを隣り合った適切な小期間に細分化して、この小期間単位ですべての生産活動を計画・統制することである。細分化された小期間のことを［ B ］という。

MRP における［ C ］には、独立需要品目を対象として、品目ごとに［ B ］の単位で設定した生産予定が示されている。さらに、独立需要品目と従属需要品目の関係性が記載された［ D ］を用いて、資材の所要量展開が行われる。

〔解答群〕

ア　A：MPS　　B：BOM
　　C：ローリングスケジュール　　D：タイムフェイズ

イ　A：MPS　　B：タイムフェイズ
　　C：タイムバケット　　D：ローリングスケジュール

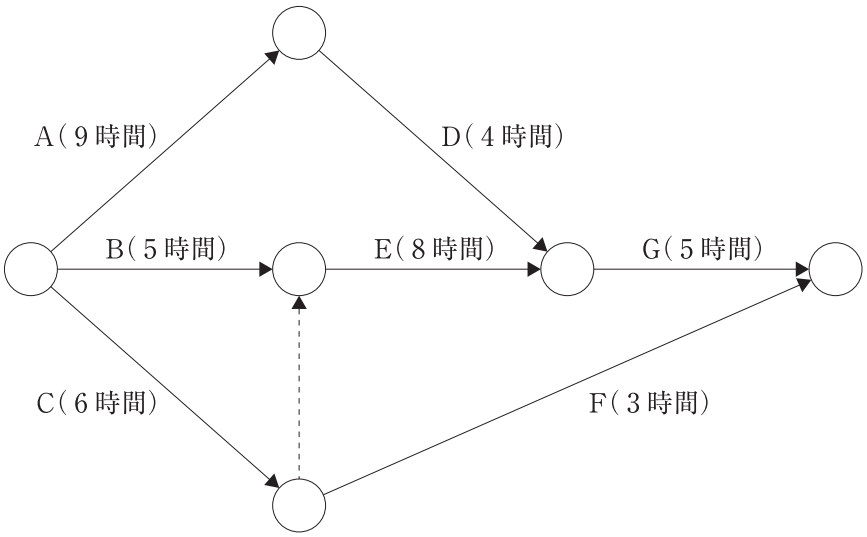
ウ　A：タイムフェイズ　　B：BOM
　　C：タイムバケット　　D：MPS

エ　A：タイムフェイズ　　B：タイムバケット
　　C：MPS　　D：BOM

オ　A：タイムフェイズ　　B：タイムバケット
　　C：ローリングスケジュール　　D：BOM

第3問

あるプロジェクトは7つの作業工程A～Gで構成されている。各作業工程の作業時間と作業工程間の先行関係が下図で示されるとき、このプロジェクトのPERT計算に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　このプロジェクトの最短完了時間は、18時間である。

イ　作業工程Aの作業時間が1時間短くなると、クリティカルパスは複数になる。

ウ　作業工程Cの作業時間が1時間増えると、このプロジェクトの最短完了時間は長くなる。

エ　作業工程Cを作業工程Eの先行作業からなくすことができても、このプロジェクトの最短完了時間は変わらない。

オ　作業工程Fの作業実施を不要にすると、このプロジェクトの最短完了時間は短くなる。

第 4 問

ある工場では、電力とガスを利用して 2 種類の製品 A、B が生産される。下表には、製品を 1 kg 生産するのに必要な電力とガスの量と、製品を 1 kg 販売して得られる単位利益、および現状で使用可能な電力とガスの量が示されている。総利益が最大になる方策として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

	製品 A	製品 B	使用可能量
電力	4(kW)	1(kW)	18(kW)
ガス	1(Nm^3)	2(Nm^3)	8(Nm^3)
単位利益	2(万円／ kg)	1(万円／ kg)	

〔解答群〕

ア　製品 A を生産せず、製品 B を 4 kg 生産する。

イ　製品 A を 2 kg 生産し、製品 B を 3 kg 生産する。

ウ　製品 A を 4 kg 生産し、製品 B を 2 kg 生産する。

エ　製品 A を 6 kg 生産し、製品 B を 1 kg 生産する。

オ　製品 A を 8 kg 生産し、製品 B を生産しない。

第 5 問

環境問題に関連する記述と用語の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　化石資源を除く、動植物に由来する有機物であり、エネルギー源として利用することができるもの。

b　廃棄物の再利用や再資源化などを通して、最終的に廃棄物を限りなくなくそうとする取り組み。

c　機能を復元する処理を含めて製品を再利用すること。

d　製品やサービスのライフサイクル全体における温室効果ガス排出量を CO_2 排出量に換算して数値化すること。

〔解答群〕

ア　a：バイオマス　　b：ゼロエミッション
　　c：リファービッシュ　　d：カーボンフットプリント

イ　a：バイオマス　　b：ライフサイクルアセスメント
　　c：エコマテリアル　　d：カーボンニュートラル

ウ　a：バイオマス　　b：リファービッシュ
　　c：ゼロエミッション　　d：カーボンニュートラル

エ　a：マテリアルリサイクル　　b：エコマテリアル
　　c：ゼロエミッション　　d：カーボンフットプリント

オ　a：マテリアルリサイクル　　b：ゼロエミッション
　　c：リファービッシュ　　d：ライフサイクルアセスメント

第 6 問

労働災害の抑止に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　SHELL モデルの考え方に基づいて、事故の原因を、Software（手順書等）、Hardware（設備等）、Environment（作業環境）、Liveware（作業者の個人特性）、Liability（信頼性）の観点で分析した。

イ　作業者の安全を確保するために、炉内の温度が一定値に下がるまで加熱炉の扉が開かないようにすることは、フールプルーフの考えに則っている。

ウ　ハインリッヒ（H. W. Heinrich）による事故調査の分析結果に基づいて、不安全行動よりも発生頻度が高いことが予想される不安全状態への対策に重点的に取り組んだ。

エ　フォールトトレランスの考えに則って、両手で同時にプッシュスイッチを押さないと設備が稼働しない仕組みをプレス装置に設けた。

オ　リーズン（J. Reason）のエラー分類モデルに従って、職場内のヒューマンエラーを Slip、Lapse、Violation に分類して防止対策を講じた。

第 7 問

生産職場で行われる作業の設計と訓練に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　OJT では、職務遂行上で必要な共通的な知識、技能、態度など、職場で経験できない理論的知識や体系的理解の習得を目的に作業訓練が実施される。

イ　TWI（Training Within Industry）の Job Relations では、作業者が仕事全体の目的を理解するために、仕事を構成する作業の先行関係を学ぶ。

ウ　職務拡大（Job Enlargement）では、作業者に計画・判断・フィードバックといった管理的要素を委ねることにより、責任感や達成感の向上を図る。

エ　職務充実（Job Enrichment）では、担当職務を一定期間ごとに変更することにより、担当する職務の範囲を広げて多能工の養成を図る。

オ　ハックマン（J. R. Hackman）とオルダム（G. R. Oldham）が提唱した職務特性モデルでは、職務の内発的動機づけを、技能多様性、タスク完結性、タスク重要性、自律性、フィードバックの観点から評価する。

第 8 問

1 人の作業者が組み立てに従事する職場において、ある製品の組み立ての標準時間を算定するための時間研究を実施した。

製品を 150 個組み立てる作業を観測したところ、次表の結果が得られた。

主作業時間	2.3 時間
付随作業時間	0.7 時間
準備段取り作業時間	1.0 時間

さらに、この職場の余裕率を算定するために、非作業時間を除いた実動時間の中で、観測回数が 500 回のワークサンプリングを実施したところ、余裕に相当するサンプルが 100 個得られた。

この下での組立作業の標準時間(分／個)として、最も適切なものはどれか。ただし、レイティング係数は 0.75 として標準時間を算定すること。

ア　0.90 分／個
イ　0.96 分／個
ウ　1.20 分／個
エ　1.50 分／個
オ　1.60 分／個

第 9 問

下表は、単腕ロボットが加工前ワークを自動旋盤にセットする作業に対してサーブリッグ分析を実施した結果である。この工程では、加工前ワークが単腕ロボットによって自動旋盤に移動され、自動旋盤がワークを固定(チャック)した後に加工が開始される。加工が終了したワークは、別ロボットによって自動旋盤から取り出された後に、再び、次の加工前ワークが単腕ロボットによって自動旋盤にセットされる。

この分析結果に基づいて、作業時間の短縮に向けた単腕ロボットの動作改善を考えるとき、改善案の候補として、最も不適切なものを下記の解答群から選べ。

No.	サーブリッグ	時間(秒)	単腕ロボット動作の内容
1	UD	20.0	加工済みワークが、別ロボットによって自動旋盤から取り出されるのを待つ。
2	TE＋PP	6.5	ロボットハンドを回転させながら加工前ワークの供給台へ。
3	SH	0.3	視覚センサで加工前ワークの位置を探索。
4	P	1.0	ロボットハンドを位置合わせ。
5	G	0.3	加工前ワークを把持。
6	TL＋PP	8.0	加工前ワークを回転させながら自動旋盤へ。
7	P	0.6	加工前ワークの姿勢を中空で最終調整。
8	UD	3.0	チャックされるのを中空で待つ。
9	H	0.5	チャックのために加工前ワークを保持。
10	RL	0.2	加工前ワークを放す。
11	TE	7.0	ロボットハンドを初期位置に戻す。

ここで、表内の各サーブリッグの意味は、次のとおりである。

SH：探す、G：つかむ、TE：から手移動、TL：運ぶ、H：保持、

RL：放す、P：位置決め、PP：前置き、UD：避けえぬ遅れ

〔解答群〕

ア　加工済みワークが取り出されるのを待っている No. 1 の時間内に、No. 2 から 5 を実施する。

イ　No. 2 の実施時間を短縮するために、加工前ワークの供給台を自動旋盤に近接させる。

ウ　No. 6 の実施時間を短縮するために、供給台における加工前ワークの保管姿勢を改善する。

エ　チャック直前のロボットハンドの手待ちを削減するために、No. 8 と 9 を取り除く。

オ　No. 11 を実施する代わりに、次の加工前ワークに対する No. 2 を実施する。

第10問

抜取検査に関する記述の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　OC 曲線は、不良率 p のロットが一回抜取検査で合格となる確率 L(p)を表した曲線である。

b　LTPD(Lot Tolerance Percent Defective)を満たさないロットが抜取検査によって合格と判定される確率は、生産者危険を表している。

c　AQL(Acceptable Quality Level)を満たすロットが抜取検査によって不合格と判定される確率は、消費者危険を表している。

d　ある一回抜取検査で、サンプルサイズ n を変えることなく合格判定個数 c を大きくすると、ロットの合格率は高くなる。

e　ある一回抜取検査で、合格判定個数 c を変えることなくサンプルサイズ n を大きくすると、生産者危険は低下する。

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と d

ウ　b と d

エ　b と e

オ　c と e

第11問

金属を加工する設備に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　研削盤とは、他の工作機械で既に加工された工作物をさらに高い精度や良い面粗度に加工したり、熱処理や表面処理が施されて切削加工ができない工作物の加工を行う装置のことである。

イ　フライス盤とは、複数の切削工具を自動で交換しながら、穴あけ・溝加工・ねじ加工などの工程を連続して実行できる高度な自動加工装置のことである。

ウ　ボール盤とは、回転する刃物を用いて、平面・溝・段差などを切削し、さまざまな形状を加工できる汎用性の高い装置のことである。

エ　ホブ盤とは、先端工具を高速回転させて金属や樹脂に穴をあけることに特化した装置のことである。

オ　マシニングセンタとは、歯形を削り出すための工具を連続的に噛み合わせながら加工を進め、歯車専用の形状を効率的に生成する装置のことである。

第12問

職場管理の前提となる５Ｓ(「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躾」)に基づいて実施した施策として、最も適切なものはどれか。

ア 「躾」として、職場の整理・整頓・清掃を繰り返し、汚れのない状態を維持できるようにした。

イ 「清潔」として、決められたルールを守る習慣づけを徹底させ、職場が５Ｓ活動前の状態に戻らないようにした。

ウ 「清掃」として、必要なものについた汚れを取り除き、きれいな状態にした。

エ 「整頓」として、職場にある工具を必要か不必要か区分し、不必要なものは処分した。

オ 「整理」として、必要な工具がすぐに使用できるように置き場所を決め、誰でも分かるように工具名ラベルを添付した。

第13問

設備管理に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　MTTR は、故障設備が修復されてから、次に故障するまでの動作時間の平均値である。

b　TPM は、あらゆるロスを未然防止するために、生産部門をはじめ、開発、営業、管理などの全部門にわたって展開される活動である。

c　設備の故障は、規定の機能を失った状態と、規定の性能を満たせなくなった状態、の２つに分類される。

d　予防保全には、時間計画保全と状態基準保全がある。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：正

第14問

工場レイアウト計画全体の体系的なアプローチである SLP に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　PQ 分析により生産品目と生産数量との関係を分析し、生産品目の特性に合わせた工場レイアウトを検討する。

b　SLP におけるアクティビティとは、レイアウト計画の対象となる構成要素の総称である。

c　SLP では、相互関係・面積・調整の 3 つの基本項目に基づき、レイアウト計画を体系的に進める。

d　重量物を取り扱う工場では、物の流れよりもアクティビティ相互関係を重視してレイアウトの近接性評価を行う。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：正　c：誤　d：誤

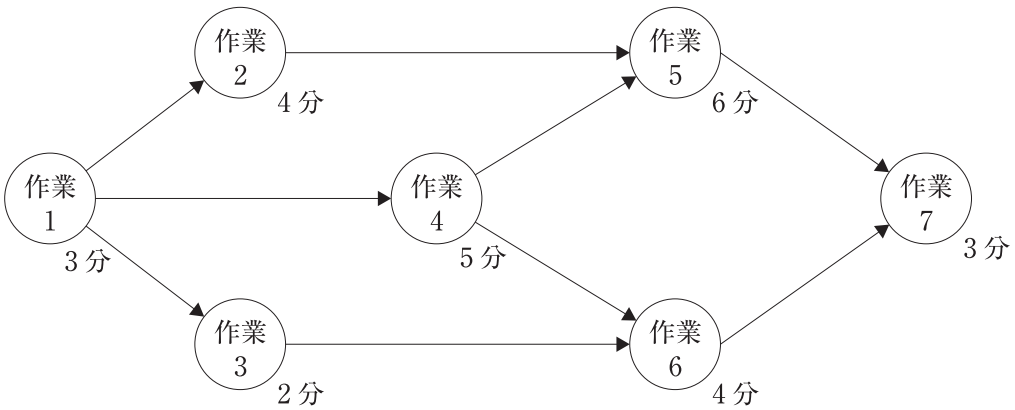
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：正

第15問

要素作業１～７の先行関係が下図に示される製品を単一ラインで生産する。この生産ラインでは、この製品を１時間当たり６個以上生産する必要がある。この生産ラインを３工程で構成する場合における記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



※○は要素作業、○の右下は要素作業時間を表す。

a　ピッチタイムを８分にした場合、３工程の生産ラインを実現できる。

b　ピッチタイムを９分にした場合、３工程の生産ラインを実現できる。

c　ピッチタイムを 10 分にした場合、生産ラインの編成効率は 90 % である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正

エ　a：誤　b：正　c：誤

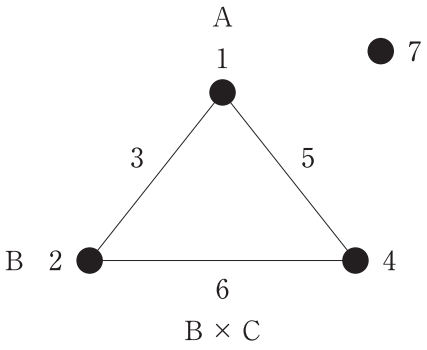
オ　a：誤　b：誤　c：正

第16問

ある加工設備において、現状よりも生産数量を増加させることを目指している。そこで、２つの水準を持つ４つの加工条件（刃物の種類、加工速度、加工手順、治具の種類）について、直交表を用いた実験計画法によってさらに良い条件の組み合わせを探すこととした。実験回数を削減するために２水準系の L_8 直交配列表を用いた実験を計画した。調べたい因子および交互作用は、下表のとおりである。

下図に示す線点図を用いて、因子Ａを直交表の１列目、因子Ｂを２列目、因子Ｂと因子Ｃの交互作用を６列目に割り付けるとき、５列目と７列目への割り付けの組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

項目	内容
因子	Ａ：刃物の種類 Ｂ：加工速度 Ｃ：加工手順 Ｄ：治具の種類
交互作用	Ａ×Ｂ、Ｂ×Ｃ



〔解答群〕

ア　５列目：Ａ×Ｂ　　７列目：誤差

イ　５列目：Ｃ　　７列目：Ｄ

ウ　５列目：Ｄ　　７列目：Ｃ

エ　５列目：Ｄ　　７列目：誤差

オ　５列目：誤差　　７列目：Ｄ

第17問

次ページの図は、製品１と製品２の、ある年の月ごとの出荷量実績をそれぞれ折れ線グラフで示したものである。また、各製品に対して、移動平均法(過去３期の平均)、指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.8$)、指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.2$)の３種類を適用した予測出荷量のグラフをａ～ｃに示す。このとき、各グラフと適用した方法の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、３つの方法の比較が可能になる４月以降の適用結果に基づいてグラフを描いている。

〔解答群〕

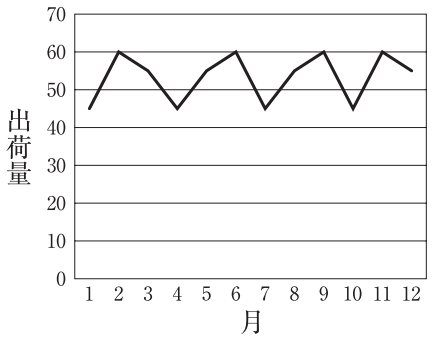
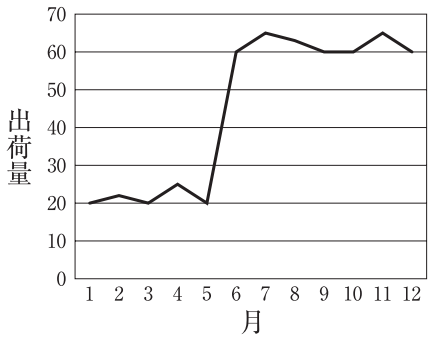
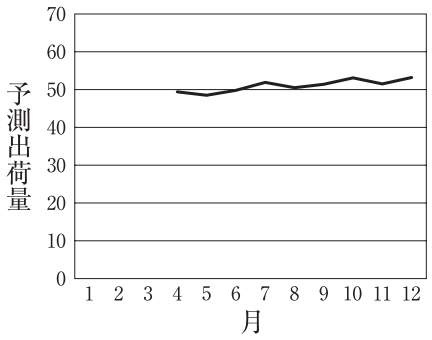
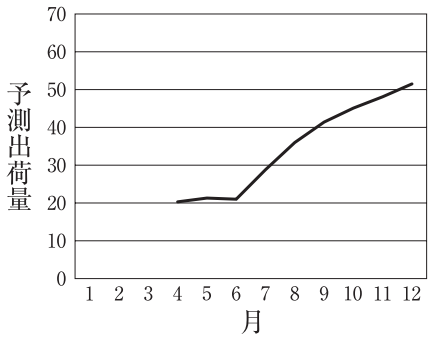
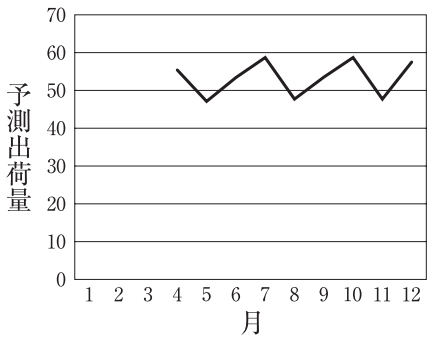
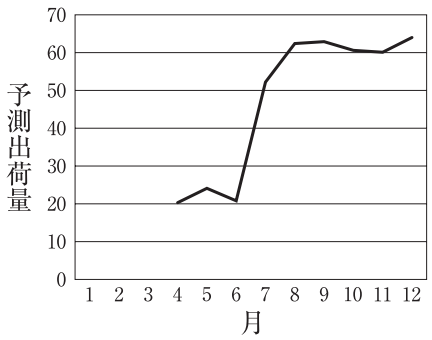
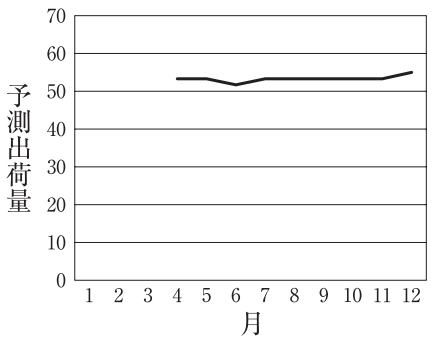
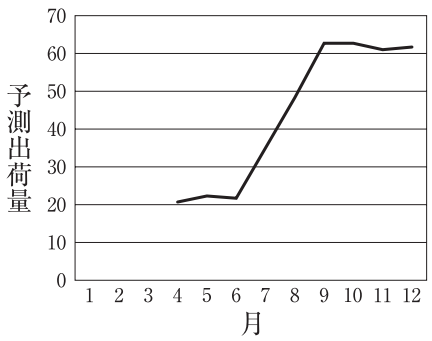
ア　ａ：移動平均法(過去３期の平均)
　　ｂ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.2$)
　　ｃ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.8$)

イ　ａ：移動平均法(過去３期の平均)
　　ｂ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.8$)
　　ｃ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.2$)

ウ　ａ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.2$)
　　ｂ：移動平均法(過去３期の平均)
　　ｃ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.8$)

エ　ａ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.2$)
　　ｂ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.8$)
　　ｃ：移動平均法(過去３期の平均)

オ　ａ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.8$)
　　ｂ：指数平滑法(平滑化係数$\alpha = 0.2$)
　　ｃ：移動平均法(過去３期の平均)

	製品１	製品２
出荷量実績		
a		
b		
c		

第18問

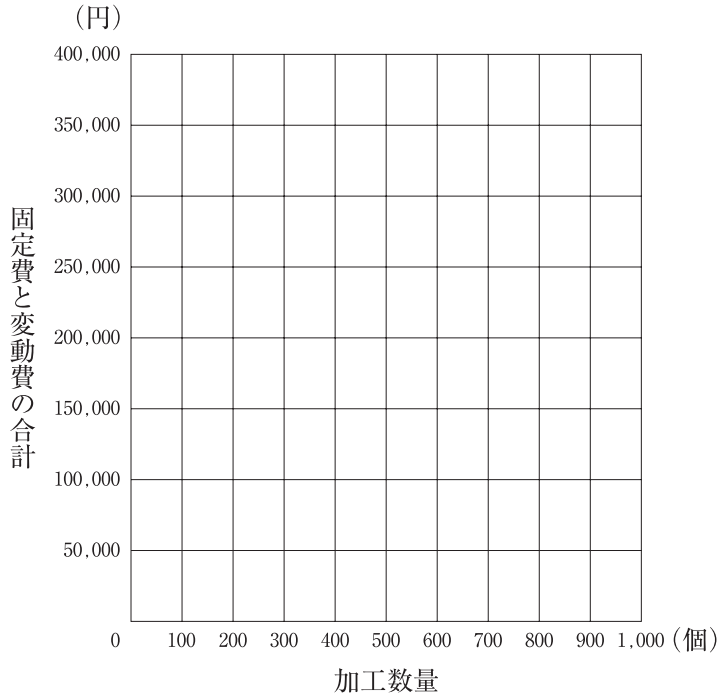
ある部品を加工するための同等の設備の候補が３種類あり、加工数量に応じた使い方を検討している。各設備の月当たりの固定費と、部品１個当たりの変動費を下表に示す。以下の設問に答えよ。

（単位：円）

	固定費（月当たり）	変動費（１個当たり）
設備１	130,000	200
設備２	100,000	300
設備３	50,000	400

（設問１）

３種類の候補から設備１台を新たに導入する場合、月当たりの固定費と変動費の合計を最小化するために、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、解答に際しては次のグラフを適宜利用すること。



〔解答群〕

ア　加工数量が設備１と設備２の優劣分岐点未満であれば、設備２が他の２つの設備より有利である。

イ　加工数量が設備１と設備３の優劣分岐点未満であれば、設備１が他の２つの設備より有利である。

ウ　加工数量が設備１と設備３の優劣分岐点未満であれば、設備３が他の２つの設備より有利である。

エ　加工数量が設備２と設備３の優劣分岐点未満であれば、設備２が他の２つの設備より有利である。

オ　加工数量が設備２と設備３の優劣分岐点未満であれば、設備３が他の２つの設備より有利である。

（設問２）

すでに設備１と設備２を１台ずつ導入してある場合、月当たりの固定費と変動費の合計を最小化するための設備の使い方として、最も適切なものはどれか。

ア　（設問１）で求められる設備１と設備２の優劣分岐点までは設備１を使用し、それ以上は設備２を使用する。

イ　（設問１）で求められる設備１と設備２の優劣分岐点までは設備２を使用し、それ以上は設備１を使用する。

ウ　設備１と設備２を固定費の比率に応じて使用する。

エ　常に設備１を使用する。

オ　常に設備２を使用する。

第19問

複数の種類の部品を1つの加工設備で製造している工程がある。1種類の部品はそれぞれ200個単位で製造している(本問では、この200個のことを製造ロットサイズと呼ぶ)。加工設備では1個ずつ連続して加工して順次、50個入る箱に入れる。箱に50個の部品が入ったらコンベヤで後工程へ運搬する(本問では、この50個のことを運搬ロットサイズと呼ぶ)。

このとき、部品の後工程への到達時刻を早める施策の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、部品種類を切り替える時間(段取り時間など)は無視できるほど短いものとする。また、コンベヤの運搬速度は不変とする。

a　製造ロットサイズを半減する。
b　運搬ロットサイズを半減する。
c　コンベヤでの運搬距離を半減する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正
イ　a：正　b：正　c：誤
ウ　a：正　b：誤　c：正
エ　a：誤　b：正　c：正
オ　a：誤　b：誤　c：正

第20問

定期発注方式における、安全在庫量や発注量を求める式として、次のものがある。

安全在庫量＝安全係数×需要量の標準偏差×$\sqrt{\text{発注間隔＋調達期間}}$

発注量＝(発注間隔＋調達期間)中の需要推定量－発注残－手持在庫量＋安全在庫量

これらの式で求められる安全在庫量や発注量に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　発注量は、安全在庫量とは独立して、発注間隔と調達期間に基づいて設定する。

b　発注間隔と調達期間が等しい状況から、調達期間を維持したまま発注間隔のみを半減する場合の安全在庫量と、発注間隔を維持したまま調達期間のみを半減する場合の安全在庫量は同じである。

c　発注間隔と調達期間が等しい状況から、調達期間を維持したまま発注間隔のみを半減する場合の発注量と、発注間隔を維持したまま調達期間のみを半減する場合の発注量は同じである。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：誤　b：正　c：正

エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正

第21問

資材管理(生産管理用語(JIS Z8141))を効果的に実施するために必要なこととして、最も不適切なものはどれか。

ア　外部から適正な品質の部品等を必要量だけ、必要な時期までに経済的に調達すること。

イ　生産活動に当たって、内外製の最適分担の下に、原材料、部品を安定的に外部から調達すること。

ウ　生産に必要な原材料、部品等の所要量、品質、必要時期などを決めること。

エ　生産部門ごとに課す仕事量を計算し、計画期間全体にわたって各職場に割り付けること。

オ　必要な部品等を、必要なときに、必要な量を、必要な場所へ供給できるように、各種品目の在庫を望ましい水準に維持すること。

第22問

全国商店街振興組合連合会が公表している『令和6年度商店街実態調査報告書』に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　商店街全体における1商店街当たりの平均店舗数は200程度である。

イ　商店街タイプ別にみると、広域型商店街よりも、近隣型商店街の数が多い。

ウ　商店街に立地するチェーン店舗のうち、商店街の会員(組合員)になっている店舗数の割合は10％を下回っている。

エ　商店街を構成する全店舗のうち、最も店舗数が多い業種は最寄品小売店である。

オ　「政令指定都市・特別区」よりも、「人口5万人未満の都市」に所在する商店街数が多い。

第23問

都市、農山漁村などにおける良好な景観の形成を促進するために景観法が定められており、店舗を出店する際には、店舗の外観などについて、その規制を受ける場合がある。

景観法に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　景観計画の区域は、都市計画区域内でなければならない。

イ　景観計画の策定では、景観重要建造物の指定の方針は必須事項であり、屋外広告物の表示の制限は選択事項である。

ウ　景観重要樹木に指定された樹木は、その所有者であれば自由に現状変更ができる。

エ　景観地区内では、建築物の壁面の位置は制限されるが、形態意匠は制限されない。

オ　道路、河川および海岸は、景観公共重要施設として、景観計画に定めることができない。

第24問

都市再生特別措置法における立地適正化計画に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　居住誘導区域外であっても、市町村は必要に応じて居住推進エリアなどの独自の区域を設定することができる。

イ　コンパクト・プラス・ネットワークの方針に基づき、各市町村の中心市街地への一極集中が推進されている。

ウ　地域・生活拠点は、人口の集積度合いが低く、各種の都市機能が集積する地区である。

エ　都市機能増進施設(誘導施設)とはスーパーマーケットなどの商業施設や病院などの医療施設であり、学校などの教育施設は含まれない。

オ　立地適正化計画では、原則として都市機能誘導区域を居住誘導区域外に定める必要がある。

第25問

小売店舗等の店舗施設(一般住宅と併用するものは除く)について、消防法令で定められた消防用設備等の点検に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　店舗に設置されている消防用設備等の機器点検は、1カ月に1回実施する必要がある。

b　延べ面積が1,000 m^2 以上の小売店舗は、消防設備士等の法令で定められた資格者に消防用設備等の点検をさせなければならない。

c　特定防火対象物では、消防用設備等の点検結果を1年に1回、消防長または消防署長に報告する必要がある。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：正　c：誤

第26問

いわゆるまちづくり３法(大規模小売店舗立地法、中心市街地活性化法、都市計画法)に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　大規模小売店舗立地法では、大規模小売店舗を出店する場合、新設に関する届出をすれば、説明会を開催する必要はない。

イ　大規模小売店舗立地法では、大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に、騒音の発生は含まれない。

ウ　中心市街地活性化法では、市町村は中心市街地活性化本部を組織し、その下で中心市街地活性化計画を作成することで、都道府県知事の認定を受けることができる。

エ　中心市街地活性化法に基づいて中心市街地活性化協議会を組織する場合、経済活力の向上を担う者として、商工会または商工会議所を構成員にすることができる。

オ　都市計画法では、市街化調整区域には、用途地域を定める必要がある。

第27問

下表は、ある店舗の商品カテゴリー別の売上高と粗利益をまとめたものである。この表におけるカテゴリーごとの相乗積に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

商品カテゴリー	売上高（千円）	粗利益（千円）	売上構成比	粗利益率
A	1,800	450	15.0％	25.0％
B	2,160	324	18.0％	15.0％
C	1,440	504	12.0％	35.0％
D	3,600	720	30.0％	20.0％
E	3,000	750	25.0％	25.0％
全体	12,000	2,748	100.0％	22.9％

〔解答群〕

ア　カテゴリーBの相乗積は、カテゴリーAよりも大きい。

イ　カテゴリーCの相乗積は、カテゴリーBよりも大きい。

ウ　カテゴリーDの相乗積は、カテゴリーEよりも大きい。

エ　相乗積が最も大きいのは、カテゴリーCである。

オ　相乗積が最も大きいのは、カテゴリーDである。

第28問

不当景品類及び不当表示防止法(景品表示法)に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　一般懸賞による景品類の提供の最高額は、取引価額が5,000円以上の場合、30万円とされている。

イ　共同懸賞における景品類の総額の限度額は、懸賞に係る売上予定総額の１％である。

ウ　景品類には、金券、商品券、値引、アフターサービスが含まれる。

エ　総付景品の景品類の最高額は、取引価額が1,000円以上の場合、取引価額の10分の2とされている。

オ　対象商品の購入を条件として先着100名に、景品がもらえるタイプの販売促進は、一般懸賞の制限を受ける。

第29問

店舗の照明に関する以下の文章の空欄AとBに入る数値の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

JISでは、店舗における照明について、領域ごとの推奨照度を定めている。

例えば、重要陳列部については、スーパーマーケットもファッション店も［ A ］ルクスと定めており、大形店の店内全般やファッション店のスペシャル陳列部は、［ B ］ルクスと定めている。また、物品販売店の一般共通事項として、洗面所は200ルクスと定めている。

〔解答群〕

ア　A：300　　B：500

イ　A：300　　B：750

ウ　A：500　　B：300

エ　A：500　　B：750

オ　A：750　　B：500

第30問

スーパーマーケットにおけるグロサリーの商品価格に関する以下の文章の空欄AとBに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

近年の物価上昇により、仕入原価が高まり販売価格を上げなければならないことが増えているが、価格弾力性が［ A ］商品の大幅な値上げは、売上数量を大きく減らしてしまうため注意が必要である。

また、特売による販売促進は、［ B ］により、販促終了後に、特売商品の定番売上が販促実施前と比べて、大きく落ち込むリスクがあるため、実施頻度やタイミングを調整することが必要である。

〔解答群〕

ア　A：高い　　B：需要の先食い

イ　A：高い　　B：チェリーピッカー

ウ　A：低い　　B：需要の先食い

エ　A：低い　　B：チェリーピッカー

第31問

インストアプロモーションに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　エンド売場では、売場内の優位置・劣位置を考慮して陳列する必要がない。

イ　クーポン販促は、同額の値引販促と比べて消費者の内的参照価格を低下させにくい。

ウ　新聞折込チラシや電子チラシの目的は、主に非計画購買を増やすことである。

エ　デモンストレーション販売は、主にリピート購買を増やすことを目的に実施する。

オ　バンドル販売は、販売価格を下げてお買得感を演出するが、買上点数の減少につながりやすい。

第32問

インターネットを通じて消費者に商品を販売するネットショップの運営に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　OMOとは、実店舗を持たずにネットショップで顧客に購買体験の価値を高める取り組みである。

イ　SEOとは、セキュリティを高めるために必要な対策である。

ウ　アフィリエイト広告とは、検索エンジンで検索されたキーワードに対応して、検索結果ページに掲載される広告である。

エ　個人でネットショップを運営する場合、特定商取引法の規制対象となる。

オ　フルフィルメントサービスを利用すると、在庫の所有権を持たずにネットショップを運営することができる。

第33問

小売店舗における発注方法に関する以下の文章の空欄Ａ～Ｃに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

ダブルビン方式と発注点補充点方式の共通点は、在庫量があらかじめ定められた発注点まで減少したときに、発注するということである。発注間隔は、販売量の増減によって［ A ］。

相違点は、１回当たりの発注量の算出の仕方である。ダブルビン方式の発注量は、あらかじめ定められた一定量であり、［ B ］と同量である。発注点補充点方式の発注量は、補充点と［ C ］との差である。

〔解答群〕

ア　Ａ：変化しない　　Ｂ：発注点　　Ｃ：安全在庫量

イ　Ａ：変化しない　　Ｂ：補充点　　Ｃ：有効在庫量

ウ　Ａ：変化する　　Ｂ：発注点　　Ｃ：安全在庫量

エ　Ａ：変化する　　Ｂ：発注点　　Ｃ：有効在庫量

オ　Ａ：変化する　　Ｂ：補充点　　Ｃ：有効在庫量

第34問

「下請代金支払遅延等防止法(下請法)」が改正され、「製造委託等に係る中小受託事業者に対する代金の支払の遅延等の防止に関する法律(中小受託取引適正化法)」が2026年1月1日に施行された。当該改正に伴い、適用対象要件の1つである取引の内容に、「特定運送委託」が新たに追加された。この「特定運送委託」に該当する取引として、最も適切なものはどれか。

ア　貨物自動車運送事業者が貨物運送に併せて請け負った梱包を、梱包業者に委託する取引

イ　貨物利用運送事業者が請け負った貨物運送のうちの一部を、他の運送事業者に委託する取引

ウ　自社工場間における半製品の運送のような、取引の相手方に対する運送ではない運送を、荷主が運送事業者に委託する取引

エ　内航運送事業者が請け負う貨物運送に必要な船舶の運航を、他の内航運送事業者に委託する取引

オ　発荷主が販売した商品を取引の相手方に引き渡す場合に、その商品の運送を運送事業者に委託する取引

第35問

物流におけるユニットロードに関する以下の文章の空欄A～Cに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

貨物をユニットロードにすることによって、荷役を機械化し、輸送や保管などを一貫して効率化する仕組みをユニットロードシステムという。例えば、一貫パレチゼーションは、発地から着地まで一貫して［ A ］物流を行うことをいう。ユニットロードシステムには、体系化された輸送包装寸法を得るための基準となる包装モジュールがある。包装モジュールの倍数値または分割値を組み合わせて導き出した一連の平面寸法(長さ×幅)を包装モジュール寸法という。例えば、包装モジュール寸法1,100 mm × 1,100 mmは、［ B ］の包装モジュールから導かれている。

一方、ユニットロードシステムによって物流効率が低下することがある。例えば、平パレットを利用して貨物をトラックで輸送する場合、［ C ］ことがある。

〔解答群〕

ア　A：同一のパレットに貨物を積載したまま
　　B：600 mm × 400 mm　　C：トラックの積載率が低下する

イ　A：同一のパレットに貨物を積載したまま
　　B：550 mm × 366 mm　　C：トラックの積載率が低下する

ウ　A：同一のパレットに貨物を積載したまま
　　B：600 mm × 400 mm　　C：トラックの積卸の荷役時間が長くなる

エ　A：同一の輸送機関で異なるパレットに貨物を積み替えながら
　　B：550 mm × 366 mm　　C：トラックの積卸の荷役時間が長くなる

オ　A：同一の輸送機関で異なるパレットに貨物を積み替えながら
　　B：600 mm × 400 mm　　C：トラックの積載率が低下する

第36問

小売業の物流センターの機能に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　仕入先から物流センターへの納品頻度を少なくするには、通過型物流センターよりも、在庫型物流センターを利用する方が適している。

イ　通過型物流センター内の作業工程数を少なくするには、注文商品を事前に店舗別に仕分けて入荷するタイプの物流センターよりも、事前に仕分けをせずに総量をそのまま入荷するタイプの物流センターを利用する方が適している。

ウ　店舗での発注から納品までのリードタイムを短くするには、在庫型物流センターよりも、通過型物流センターを利用する方が適している。

エ　物流センターから店舗へのカテゴリー納品は、納品車両の積載効率を上昇させるのに適している。

オ　プロセスセンターは、物流ネットワーク上で輸送機関を切り替えることを主な機能としており、貨物ターミナル駅やコンテナターミナルなどと呼ばれる。

第37問

物流センターの運営に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　トラック予約受付システムを導入すると、トラックの荷待ち時間を短縮させる効果が期待できる。

b　ピッキングする商品品目数がオーダー数より少ない場合には、種まき方式よりも摘み取り方式の方が適している。

c　フリーロケーション管理は、固定ロケーション管理よりも、人によるピッキングの作業効率が高いが、保管効率は低い。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：誤　c：正

第38問

一般財団法人流通システム開発センターでは、商品変更などにともないGTIN-13が変更になる具体的な内容を「10の基準」として定めている。その基準に従えば、自発的に従来商品と分けて受発注する意図はない場合に、以下の商品変更例の中で特に新たなGTIN-13を設定する必要がない事例として、最も適切なものはどれか。ただし、記載以外の変更はないものとする。

ア　従来商品のクッキーの成分にナッツなどのアレルゲンを追加し、商品表示を変更した場合

イ　従来商品のコーヒー豆を有機栽培のコーヒー豆に変更し、オーガニック（有機）マークを追加した場合

ウ　従来商品のジュースの内容量を500 mlから475 mlに減量した場合

エ　従来商品の包装容器をガラスからPET素材に変更し、総重量を30 %軽量化した場合

オ　従来商品のポテトチップスのパッケージを、サッカーワールドカップ期間限定で、サッカーワールドカップ用のデザイン包装に変更した場合

第39問

商品コードやそのマーキングに関する以下の文章の空欄A～Dに入る用語の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

商品コードのマーキングには、商品の製造・出荷段階で、メーカーなどが取得したGS1事業者コードに基づくJANコードを、商品包装や容器にマーキングする［ A ］マーキングと、小売店が総菜や不定貫商品などに、店舗内のみで通用する［ B ］コードをマーキングする［ B ］マーキングがある。［ B ］コードには、価格情報がバーコード自体に埋め込まれている［ C ］方式と、バーコード自体に価格情報を持たず、データベースを用いて価格を参照する［ D ］方式がある。

〔解答群〕

ア	A：インストア	B：ソース	C：non-PLU	D：PLU
イ	A：インストア	B：ソース	C：PLU	D：non-PLU
ウ	A：ソース	B：インストア	C：non-PLU	D：PLU
エ	A：ソース	B：インストア	C：PLU	D：non-PLU
オ	A：フル	B：ソース	C：non-PLU	D：PLU

第40問

資金決済に関する法律(資金決済法)は、近年の ICT の発達や利用者ニーズの多様化などの資金決済システムをめぐる環境の変化に対応するため、前払式支払手段、資金移動、資金清算、暗号資産(仮想通貨)などについて規定している。以下の紙型の商品券などのうち、資金決済法の適用を受ける前払式支払手段として、最も適切なものはどれか。

ア　社員食堂の食券
イ　乗車券
ウ　全国共通おこめ券
エ　地方公共団体が発行する商品券
オ　美術館の入場券

第41問

ある小売店の販売データを用いて、優良顧客と一般顧客の購買行動の違いを分析するために、顧客 ID ごとの総購買金額の大きさで顧客を「一般顧客」と「優良顧客」という 2 つのクラスに分類した。その後、顧客属性、各商品の購買数、クラスを整理して以下のようなデータセットを構築した。このとき、顧客 ID、性別、年齢、クラスの各項目のデータと、その尺度水準(名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度)の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

顧客 ID	性別	年齢	商品 A(個)	・・・	商品 ZZZ(個)	クラス
A001	1	28	5	・・・	0	1
A002	2	47	0	・・・	1	0
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
Z999	3	32	1	・・・	0	0

＊ただし、性別の 1 は女性、 2 は男性、 3 はその他を意味している。また、クラスの 0 は一般顧客を、 1 は優良顧客を意味している。

〔解答群〕

ア　顧客 ID －名義尺度　性別－名義尺度　年齢－比例尺度　クラス－名義尺度

イ　顧客 ID －名義尺度　性別－順序尺度　年齢－比例尺度　クラス－順序尺度

ウ　顧客 ID －名義尺度　性別－名義尺度　年齢－順序尺度　クラス－順序尺度

エ　顧客 ID －間隔尺度　性別－名義尺度　年齢－順序尺度　クラス－名義尺度

オ　顧客 ID －間隔尺度　性別－順序尺度　年齢－比例尺度　クラス－順序尺度

第42問

2015年の個人情報保護法改正により「匿名加工情報」の制度が導入されたが、個人情報を匿名加工情報にするには、データの削除や高度な加工技術を必要とする。また、不可逆的な加工を施すため、データの具体性や詳細さが失われ、分析用途が限定されるという課題がある。そこで「仮名加工情報」は、データ利活用の促進と個人のプライバシー保護の両立を目的として、2022年4月1日施行の改正個人情報保護法において新たに導入された。

このような、「匿名加工情報」および「仮名加工情報」に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　個人情報保護法で定める要配慮個人情報を含む個人情報を加工して、匿名加工情報を作成することは禁止されていない。

b　個人情報を含む販売データを仮名加工情報に加工したとしても、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができる状態にある場合は、当該仮名加工情報は個人情報に該当する。

c　個人情報取扱事業者である仮名加工情報取扱事業者は、本人の事前の同意を得なくても原則として、仮名加工情報である個人データを第三者に提供することができる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正

第43問

ある小売店では商品販売を目的としたECサイトを運用しており、そこで利用しているネット広告の効果を評価しようとしている。以下の評価方法に関する記述の空欄A～Cに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

最初にCTRを分析し、［ A ］を評価する。CTRが低い場合は、ターゲティングの変更やクリエイティブの改善を検討する必要がある。CTRが良好と考えられる場合にはCVRを確認し、CVRが低い場合には［ B ］を検討する必要がある。加えて、当該広告費に対する関連した売上を測る［ C ］をモニタリングする。これらの指標を適切に管理し、広告効果を継続的に改善することが重要である。

〔解答群〕

ア　A：広告の訴求力　　B：ホームページの構成やSEO対策
　　C：ROE

イ　A：広告の訴求力　　B：ランディングページの構成や購入導線の改善
　　C：ROAS

ウ　A：広告の訴求力　　B：ランディングページの構成や購入導線の改善
　　C：ROE

エ　A：顧客の購買力　　B：ホームページの構成やSEO対策
　　C：ROAS

オ　A：顧客の購買力　　B：ランディングページの構成や購入導線の改善
　　C：ROE